

登録コード	HM121800	開講年度	2026				
授業題目	麻酔科学特別研究					担当教員	田中 聡 他
英文授業名	Research Thesis in Anesthesiology					副担当	石田 高志・石田 公美子
単位数	10	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	大学院生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					麻酔科学における課題を明らかにし解決法を導き出す研究計画を示せる。	
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					研究計画に沿って研究を行い、データの取得および統計学的処理が行える。	
(2)詳細 /Detailed information	麻酔学領域における研究課題を自ら設定し、基礎研究および臨床的研究を遂行し、得られたデータを科学的に解析できる。						
(3)授業の概要 /Overview of course	自立した研究活動を行い、論文を作成し発表できる。 研究者として求められる倫理観を有する。 医学研究・教育において指導ができる。						
(4)授業計画 /Course plan	・ 臨床上の問題点を知り、その問題のメカニズムや解決法を提示するための研究仮説を抽出する ・ 従来からの仮説・学説を調査し理解する。 ・ 基礎研究あるいは臨床研究の研究計画を立案する。 ・ 研究の方法論を理解し、実施できる。 ・ 医学統計を理解し、データの解釈ができる。 ・ 論文を作成することができる。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	レポート（論文）による。 「レポート（論文）の評価基準」 （１）問題の設定が適切であり、（２）その問題の背景を説明できており、（３）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（４）それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、（５）その上で自分の見解を適切に提示できている場合には、「かなり上にある」。４項目までできていれば「やや上にある」。３項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	事前学習：授業の終わりに次回までの予習課題を説明する。予習した内容はミニレポートとして講義の最初の10分間にまとめ、提出する。 事後学習：授業の始めに、前回の授業内容に関連する問題を提示するので、復習をして授業に臨む。 この授業の履修にあたっては、周術期医療の経験があることが望ましい。上記の日時に参加できない場合には、協議の上で具体的な時間割を決定する。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問は随時受け付ける。						
(8)授業の形式 /Course format	演習						